

平成26年度第6回(平成27年3月度)

理事会報告

理事会 議事

2015年3月25日に平成26年度第6回理事会・運営会議が理事14名、監事1名と1名の理事代理の方の出席のもと、高輪台 日本オーディオ協会 大会議室にて開催されました。

1. 第1号議案：理事交代の承認を求める件

ソニー(株)の理事交代(中川氏から小川氏)及び、パイオニア(株)の理事交代(池田氏から蒲生氏)が申請通りに承認されました。

副会長会社である両社の理事交代に伴い、小川理事と蒲生理事共に副会長就任が申請通りに承認されました。

2. 第2号議案：新会員の承認を求める件

平成26年第5回(平成27.2月)理事会以降、平成27年3月24日までの間に入会申請のあった法人正会員7社並びに、個人正会員2名の入会が申請通り承認されました。今回入会承認された法人正会員7社は下記に通ります。

- ・ HTC NIPPON 株式会社：台湾のPC/IT、携帯端末製造販売メーカー。今後ハイレゾ対応スマホ販売拡大寄与に期待されます。
- ・ 三信電気株式会社：エレクトロニクスの総合商社大手として今後の協会活動への貢献が期待されます。
- ・ 東芝ライフスタイル株式会社：東芝ブランドのテレビ、生活家電などの開発、製造、販売会社。今後、家電大手としての協会活動への貢献が期待されます。
- ・ シュアジャパン有限会社：米国シュア社の国内

法人。今度、オーディオ老舗メーカーとしての協会活動への貢献が期待されます。

- ・ 株式会社ブライトーン：九州大学開発のKITHIT社製スーパーツイーター、また、高級輸入オーディオを扱うベンチャー企業です。今後、音のサロン等、啓発活動への貢献に期待されます。
- ・ アビー株式会社：PC関連、また3Dプリンター等の企画販売会社。今年4月にハイレゾ対応オーディオPCを発売。今後PC関連という異業種から視点からの協会活動への貢献が期待されます。
- ・ 株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ (TAD)：100%パイオニアグループの高級オーディオメーカー。これまでも音展等への参加で協会活動に貢献されています。

3. 第3号議案：平成26年度諮問委員追加新任者の承認を求める件

元パイオニアにて Surround Sound 部会、DHT 委員会等にて協会活動に貢献された小谷野信司氏(現 KOYANO SOUND LAB.)の諮問委員への就任が申請通りに承認されました。小谷野氏には今後広く技術面でのアドバイスを頂く予定です。

4. 第4号議案「事務局長交代の承認を求める件」

協会事務局長が、平成27年4月1日付けで五十嵐裕史氏から照井和彦氏に交代する人事案が会長より諮られ承認されました。なお五十嵐氏は4月1日以降、事務局員として照井事務局長をサポートすると共に、JASジャーナル編集委員会事務局、また、ハイレゾロゴ

海外対応業務を担当いたします。

5. 第5号議案:平成27年度事業計画案と収支予算案の承認を求める件

(1) 平成27年度事業計画案:

始めに校條会長から事業計画案の説明がされました。平成27年度のキーポイントは下記の通りです。

- ・ 昨年の「ハイレゾ・オーディオ」の提案以来、協会活動の活性化とともに新規法人会員も増加しており、今後、趣味の啓発活動だけではなく、産業育成につながる事業計画が必要。“オーディオ文化”構築に向けた“産業政策からオーディオ文化への昇華”を目指す事業計画とします。
- ・ 主な活動内容と具体的な組織体制は下記のとおりです。
- ・ 継続委員会:5委員会。「音の日委員会」、「JAS ジャーナル編集委員会」「展示会実行委員会」「音のサロン委員会」「ヘッドホン試聴環境改善委員会」
- ・ 改廃委員会:下記の2委員会
 - A・V 環境改善・講座委員会:従来のデジタル・ホームシアター普及委員会を改め、「ルームチューニング・インストラクター講座」制度を新規に開設。また、これまで蓄積された技術を広く活用する為、ノウハウをガイドブックにまとめ、①AV新技術の明確化、②用語の整理、③プロモーション計画の立案と推進を行う。
 - ネットワーク・オーディオ委員会:名称の変更はないが、「ハイレゾ・オーディオ」に連動した取り組みに特化し、「ハイレゾ技術 WG」と「ハイレゾ定義 WG」を立ち上げ、ハイレゾ・ステアリング・コミッティーにハイレゾ申請された商品の技術的検討、及びその定義検討をおこなう。
- ・ 新設委員会:下記の2委員会
 - カーオーディオ専門委員会:「ハイレゾ・オーディオ」導入に関し今期より新設。非会員企業を含むカーオーディオ生産販売会員企業、及び自工会通信部会で構成し、早期に方向を出す。
 - 良い音委員会:「ハイレゾ・オーディオ」導入によ

り、「ハイレゾは音が良いのか」、「良い音とは何か」という議論が再燃したのを機に、協会として今期よりオーディオ再生に際し「良い音とは」の入り口論から取り組むこととし、「良い音委員会」を新設。学識者及び音楽家からの見解を含め、広く見解を集めつつ「日本オーディオ協会らしい」定義の検討を進める。

(2) 平成27年度収支予算案:

続いて事務局から予算案が説明されました。

- ・ 収入は平成26年度見込みに対し、今回入会する7社の会費増を反映し+430万円の増収の予定。
- ・ 支出は活動費の増収分をハイレゾ関係、試聴環境改善活動の充実とホームページ改版費に充て、また、増収分の一部を人件費に充て、業務量の増加対応と職員の若返りを図る。
- ・ 収支は収支均衡で予算化。
- ・ 音展予算計画:平成26年とほぼ同規模で計画し、44万円の黒字にて予算化

事務局からのお知らせ

協会事務局長が平成27年4月1日付けにて五十嵐裕史から照井 和彦(てるい かずひこ)に交代しました。

照井 和彦 新事務局長のご挨拶



今年4月から事務局長になりました照井和彦です。前職ソニーではスーパーオーディオ CDの普及活動に携わってまいりました。ハイレゾが話題となっている中でオーディオの活性化に向かって頑張っております。

みなさんどうぞ応援よろしくお願いします。